



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2019 **6**

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨など各地で災害が続く中、
会員生協・団体で支援活動が継続して行われています。(関連ページ P.2)



【生活協同組合コープこうべ】

「たけのこ」の竹林整備

真備町の名産である「たけのこ」の竹林整備
※被災者が避難して全く竹林の整備ができていないため
県内10の高校より70名の学生が参加
3月25日(月)



【生活クラブ生活協同組合都市生活】

「大人リフレッシュツアー」

福島の方を神戸へお招きする「大人リフレッシュツアー」
も今回で4度目。
12月13日(木)～14日(金)



【神戸医療生活協同組合】

「東日本被災地支援」

みやぎ県南医療生協の「わいわい山元まつり」でたこ焼き
販売、現地の方たちと交流を行いました。
10月18日(木)～10月21日(日) 11名参加



会員生協・団体の災害支援や「伝える・備える・活かす」取り組み

生活協同組合コープこうべ

「西日本豪雨でのボランティア活動」

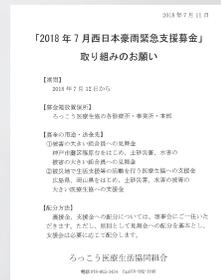
コープこうべ、ひょうごボランティアプラザとの協働でボランティアバスを運行し、被害の大きい真備町でボランティアを行いました。8月10日(金)



ろっこう医療生活協同組合

「西日本豪雨緊急支援行動」

神戸市灘区篠原台で被災した組合員宅を訪問。募金159,888円は、全壊した2名の方にお渡ししました。7月～10月



西宮市職員生活協同組合

「生協祭景品で復興支援」

生協祭の福引景品に被災地である東北・熊本・岡山・広島の名産品を使用して組合員に配りました。10月24日(水)～26日(金)



生活クラブ生活協同組合都市生活

「西日本豪雨・台風21号で被災した提携生産者へのお見舞い」

組合員から集めたカンパ金を、野菜の提携生産者にお見舞いとして贈呈しました。12月22日(土)



神戸医療生活協同組合

「東北視察研修（福島・宮城）」

地震や津波、原発被害を受けた地域の復興の現状を知るために視察と交流を行いました。3月8日(金)～3月10日(日)、7名参加



「西日本豪雨関連支援活動」

広島県と岡山県倉敷市へ泥かき等の支援を行いました。広島へ4回(延べ17名)、倉敷へ3回(延べ11名) 7月14日(土)～8月29日(休)



こくみん共済CO・OP

「兵庫労済創立60周年記念チャリティイベント『ミュージカルKINJIRO!』」

来場者に総額118,467円の募金をいただき日本赤十字社を通じて被災地にお届けしました。3月23日(土)



近畿労働金庫兵庫地区本部

「地震・豪雨で被災された障がい者の支援」

被災障がい者を応援する募金プロジェクトを立ち上げ、募金約118万円(142件・のべ124会員)を認定NPO法人ゆめ風基金に届けました。2018年9月～2019年3月



CONTENTS

2. 災害支援
3. 「兵庫 JCC 虹の仲間と海づくり」参加報告／
兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課からのお知らせ
4. 協同組合のかけはし
5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

6. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会／行事予定／
編集後記

～「兵庫JCC虹の仲間で海づくり」～参加報告

5月18日(土)、JF兵庫漁連とコープこうべが共催する第2回「虹の仲間で海づくり」に、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)として参加しました。昨年9月に開催予定だった第1回目は、生憎の台風による悪天候で中止となったため、実質今回は初めての開催となります。

「豊かな海を次の世代につないでいくこと」を目的に、生協、農協、漁協、森林組合の組合員や役員・職員、明石市職員ら111人が海浜の清掃作業を行いました。会場は明石の望海浜公園南海岸。普段は入れない海岸の砂浜にはハマヒルガオが満開でした。

開会にあたり、JF兵庫漁連の突々専務理事から「この海岸には10数年前までウミガメが産卵に訪れていた。きれいな海と豊かな海は違うということをぜひ知ってほしい」旨のお話の後、浜辺の清掃を行いました。一見きれいな海岸ですが、よく見ると、漂着したのか廃棄されたのか、いたるところにペットボトルや空き缶、

たばこの吸い殻やビニール等のゴミが散乱していましたが、約1時間の清掃活動できれいな砂浜に戻りました。

清掃終了後は、明石市内の5つの漁連さんの協力で林崎漁港から明石海峡大橋までをクルージング(途中に透明度調査)。海から見た明石の海岸

は、コンクリートで護岸が固められたところが多く、砂浜が本当に少ないことを目の当たりにしました。

昼食は、県内産にこだわったサーモンやハタハタ・明石たこ・明石鯛の一夜干し等の豊富な食材でシーフードバーベキューをいただき、参加者と交流を深めました。「話には聞いていたが、砂浜にこんなにゴミが多いとは、思わなかった。この活動を継続してほしい」「またこの海岸にもウミガメが戻ってきてほしい」などの感想が寄せられ、豊かな海づくりへの理解と関心が深まったイベントになりました。



清掃作業



参加者全員で記念撮影



みんなで集めたゴミ

兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課からのお知らせ

☑ 早期発見にはがん検診 兵庫県の平成28年度の死因第1位は「がん」です

定期的ながん検診を受けると、「がんになる前の病変を見つけて、がんになることを防ぐ」「症状がでる前にがんを見つけ、治療にかかる負担を少なくする」ことができます。対象の方は是非、受診を!

検診の種類	対象者	受診間隔	主な検査方法
胃がん検診	50歳以上の男女	2年に1回	胃エックス線検査(*)又は胃内視鏡検査 ※当分の間、40歳代を対象としても差し支えない ※当分の間、胃エックス線検査を年1回実施しても差し支えない
大腸がん検診	40歳以上の男女	毎年	便潜血検査
肺がん検診	40歳以上の男女	毎年	胸部エックス線検査、喀痰細胞診検査
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回	マンモグラフィ(乳房エックス線)検査 ※視診、触診は推奨しない
子宮頸がん検診	20歳以上の女性	2年に1回	子宮頸部の細胞診検査

お住まいの市町がん検診担当課
または右記サイトへ

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/shityomadoguti.html>

☑ 全国でも下位 兵庫県のがん検診受診率

兵庫県のがん検診受診率、5つのがん検診すべてにおいて全国で下位に位置しています。

お住まいの市町から、がん検診の案内が届いていませんか?お勤め先の健康診断にがん検診はありませんか?ご自身あるいはご家族が受診することのできるがん検診を確認しましょう!

協同組合のかけ橋

JF

JF 坊勢

漁業体験見学船 第八ふじなみ竣工

3月10日(日)、姫路市家島町坊勢の家島群島開発総合センターにて、JF・行政など多くの関係者が訪れるなか、JF 坊勢（岡田 武夫組合長）の漁業体験見学船 第八ふじなみの竣工祝賀会が開催されました。

岡田組合長は「県・市など、たくさんの方々のお力添えにより竣工することが出来ました。漁業体験を通じて今後の坊勢島の漁業のみならず、漁家民泊など島内を活性化したい」と話されました。

今後は、第八ふじなみを活用し、単なる一般的な観光漁業としてだけでなく、市内の小中学生などの自然学校や環境学習での利用や、魚食普及推進に役立てるとともに、漁家民泊など新たな産業と連携し、坊勢島を活性化することが期待されます。



船内客室



第八ふじなみ
船質：アルミ軽合金
長さ：21.21メートル 幅：4.38メートル
深さ：1.55メートル 総トン数：19トン。
主エンジン：いすゞ製の12気筒、1,300馬力
最新型の漁船用機器類を装備し、特にスリーDソナーにより、海底の地形を立体的に見ることができ、漁礁の位置や形を客室にあるモニターへ映し、画像で実感する事が出来ます。
モニターは4基ありソナー画像のほか、DVDを放映することが出来ます。

JA

JA 兵庫みらい

新たな特産品アスパラガスの 産地化を目指して

JA 兵庫みらいは、新たな特産品として、アスパラガスの産地化に取り組んでいます。

アスパラガスは、収穫期間が長く作業の繁閑の差が小さいことや、収益性が高いことに加えて、軽量のため、収穫作業が比較的楽で女性にも取り組みやすいことから、新たな特産品として選ばれました。

同JAのマスコットキャラクター「みらいちゃん」にちなんで「みらいちゃんアスパラ」と名付け、JA 農産物直売所で販売しているほか、卸売市場を通じて阪神間のスーパーにも出荷しています。

加西市にある「実践型研修ハウス」は、試験栽培を目的として建設されました。最新技術を活用して温度や湿度を記録し、基準値を超えるとEメールで配信されるシステムを実験的に導入。この試験栽培で得たノウハウを営農指導に活かしています。

また、農家への支援としては、集荷場と選別機を設置しているほか、パイプハウスや灌水設備導入に対する助成を行い、農家の作業や費用の負担を軽減しています。

近畿圏内初のアスパラガスの産地化に向け、直売所での試食イベントや都市部の住民を対象にした収穫体験ツアー、学校給食への食材提供など、積極的なPR活動を展開。今後3年間で栽培面積2[㍊]を目指し、産地育成に取り組みます。



集荷場でアスパラガスを機械選別



最近の消費生活相談事例

レンタルオーナー契約にご用心

事例

母親から、儲かる投資話があるのでお金を貸してほしいという電話があった。この投資話は、「テレビ電話」を購入し、そのテレビ電話を海外のホテルにレンタルすることで、毎月レンタル料が収入になる仕組みらしい。母親はすでに二百万円以上支払っており、レンタル料も毎月十万円程度入金されていることから、さらに投資をしたいということで電話をしてきたようだ。

あやしい話なので反対をしているが母親は信じているようだ。止めさせたい。(40代・男性)

【アドバイス】

商品を購入してオーナー（所有者）となり、その商品を貸し出すことでレンタル料が受け取れるという「レンタルオーナー契約」に関する相談が多く寄せられています。

今回の商品は「テレビ電話」ですが、他にも磁気治療器やウォーターサーバー、パチスロ機、コンテナ倉庫など様々な商品があります。

しかし、消費者には商品が一切渡されず、事業者のレンタルビジネスの実態や信用性を確認することが難しいのが実情です。事業者と連絡がとれなくなり倒産してしまうと、レンタル料の受け取りはもちろん、商品代金の返済を求めることも困難になります。

「レンタルオーナーになれば、毎月レンタル料が入り元本も保証される」「高配当」というような勧誘がありますが、レンタル事業の実体を確認できない場合や、事業が破綻した場合は元本も戻らないことを理解できない場合は、きっぱり断りましょう。

また、過去にレンタルオーナー契約で被害に遭った消費者に「損を取り戻します」と言って着手金や手数料を要求する二次被害も発生しているため十分注意しましょう。

困ったときは、最寄りの消費生活センター等に相談しましょう。

(兵庫県立消費生活総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

最近、私、消費者ホットライン188番も、ずいぶん浸透してきたなあと感じています。なぜかという、最近、学校の講演で「188番」のことを知ったというお話が、チラホラ聞こえてくるからです。なんだか、嬉しくなりますね。

さて、実際に消費者トラブルで困った時に、188番に相談するか、しないか、という場面を考えてみます。相談先は知っていること、それがイコール「相談する」ということにはならないと思うのです。その理由を考えてみます。一つは、相談すること自体が、あまり得意ではない、人に話をするのが苦手な人かもしれません。このような人の場合は、188番を知っているだけでは、相談、解決へと繋がりません。もう一つは、相談することで、解決へと繋がるイメージが湧かないのかもしれない。病気の場合を例として考えてみます。お医者さんに診察してもらい、お薬をもらい、療養する、というイメージが湧きます。では、消費者トラブルだと、どうでしょうか？すぐにイメージが湧きますでしょうか？ 次回は、消費者トラブルが相談から解決へと繋がるイメージをお話したいと思います。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

第97回国際協同組合デー・ 兵庫県記念大会のご案内

国際協同組合デーは、世界中の生協や農協・漁協・森林組合など協同組合にたずさわる人々が心一つにして協同組合運動の前進を誓う日として、毎年7月の第1土曜日と定められています。

この日に先駆けて兵庫県記念大会を行います。記念講演は末吉里花氏（一般社団法人エシカル協会代表理事、日本ユネスコ国内委員会広報大使）を迎え、「私たちの選択が未来を変える～エシカル消費のすすめ～」をテーマにお話しいただきます。ご参加をお待ちいたしております。

◆と き：2019年7月5日(金)

午後1時30分～4時

◆ところ：兵庫県民会館 9階 けんみんホール
(神戸市中央区下山手通4-16-3)

◆プログラム：Ⅰ部 記念式典
Ⅱ部 記念講演

「私たちの選択が未来を変える～エシカル消費のすすめ～」

講師 末吉 里花氏

◆定 員：350人（定員になり次第、締切とさせていただきます）

◆入場料：無料（事前申し込みが必要です）

◆主 催：兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫 JCC）
兵庫県生活協同組合連合会／兵庫県農業協同組合中央会
兵庫県漁業協同組合連合会／兵庫県森林組合連合会

◆お申込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会
電話：078-391-8634 FAX：078-392-2059



県連行事予定

6月3日(月) 兵協連 第3回役員推薦委員会

第7回理事会

(県民会館 1201)

6月18日(火) 兵協連 ひょうごまるごと

健康チャレンジ2019実行委員会

(コープこうべ住吉事務所)

6月24日(月) 兵協連 第69回通常総会

第1回理事会

(県民会館 パルテホール)

編集後記

5月18日(土)明石市望海公園南海岸で開催された「虹の仲間と海づくり」に参加しました。みなさん、「きれいな海」と「豊かな海」は違うということをご存知ですか。海水の透明度が高いのは、魚の餌になるプランクトン等が少ないため豊かな海とは言えない。また、豊かな海になるためには、森や街から川を経由して流れ込む豊富な栄養が、豊かな海の源になり、海藻やプランクトンが育ち豊かな海となり、私たちは、おいしい魚介類を食べることができていることを学びました。虹の仲間と海づくりに参加して、自然を守ることの大切さを実感した1日でした。
(村上)

